

令和7年度予算は昨年度に引き続き、
メインディッシュ(各課の最重点施策)を掲載!!



大規模草地育成牧場の様子

予算
2025

みんなでつくる!

自然と笑顔になるまち なかさつない

も く じ

令和7年度予算のポイント	1
メインディッシュ（各課の最重点施策）の紹介	2
本年度予算で行う主な事業の紹介	
1 みんなが主役のまちづくり	4
2 優しさと安心が繋がるまちづくり	4
3 文化と学びが紡ぐまちづくり	6
4 元気あふれるまちづくり	8
5 潤いと安らぎのまちづくり	11
国民健康保険特別会計	12
介護保険特別会計	13
後期高齢者医療特別会計	14
簡易水道事業会計/公共下水道事業会計	15
一般会計歳入の概要	16
一般会計歳出の概要	19
村の財政状況について	
財政状況はどうなっているの？	20
借金はどうくらいあるの？	22
貯金はどうくらいあるの？	23
財政用語解説	24

令和7年度 予算のポイント

令和7年度は、6月に村長改選期を迎えますが、一般的な「骨格予算の編成」という慣行に囚われず、まちづくりを停滞させないため、従来から取り組んできたまちづくり（継続事業）の磨き上げを図り、「創造的継続」をテーマとした住民の福祉の増進を目指す予算編成を行いました。

昨年度に引き続き、全ての部局が特に注力するものは最重点施策「メインディッシュ」（※次ページ参照）として設定し、メリハリのある事業展開を通して地域の希望の向上につなげます。

また、令和5年度に「少子化ストップ元年」とした村を挙げて展開した総合的な子育て支援施策の強化を継続し、第7期まちづくり計画のテーマである「みんなでつくる！ 自然と笑顔になるまちなかさつない」を実現するため、下記の5つの基本目標に沿って作成しています。

みんなでつくる！ 自然と笑顔になるまち なかさつない

みんなが主役の
まちづくり

優しさと安心が
繋がるまちづくり

文化と学びが
紡ぐまちづくり

元気あふれる
まちづくり

潤いと安らぎの
まちづくり

予算総額
73億656万円
一般会計
56億8,560万円

一般会計 ふるさと納税による寄附総額を前年度の7億円から3億円にしたことによる減少要因はありますが、国が目指す自治体の情報システムの標準化・共通化に伴う経費や道営事業による牧場施設整備が増加したことから、前年度比+2.0%となります。

公営企業会計 簡易水道事業では水道管や流量計の更新工事により、前年度比+18.4%となります。

各会計別予算

(単位：万円・%)

会 計 名	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
一 般 会 計	56億8,560	55億7,480	1億1,080	2.0
国民健康保険特別会計	5億5,570	5億1,680	3,890	7.5
介護保険特別会計	3億7,140	3億6,700	440	1.2
後期高齢者医療特別会計	8,480	8,170	310	3.8
簡易水道事業会計	2億4,496	2億 691	3,805	18.4
公共下水道事業会計	3億6,410	4億7,798	▲1億1,388	▲23.8
合 計	73億 656	72億2,519	8,137	1.1

※1 令和6年度一般会計は、修正可決後の金額です。

※2 公営企業会計の簡易水道事業会計と公共下水道事業会計は支出総額で記載しています。

メインディッシュ(各課の最重点施策) 全27分野!!

なかさつない予算2025

令和6年度に引き続き、各課の最重点施策を「メインディッシュ」と位置づけ、現場が掲げるまちづくり“公約”として取り組みます。

事業の種類

新規

令和7年度に新しく実施する事業

拡充

すでに実施している事業の拡充

継続

継続して実施する事業

村の動きをビジュアル化

新規

**ショート動画を活用した
情報発信の強化**

25万円

総務課

美しい村づくりのすそ野拡大

拡充

**「ビューティフルデー」の
参加促進**

14万円

総務課

詳細はP11へ

デジタルで広がる住民サービス

拡充

行政手続き等のDX推進

1,213万円

住民課

効率的な収納と公平な負担の実現へ

継続

**未来を築く納税意識向上
プロジェクト**

住民課

働く保護者の利便性アップ

拡充

**村外保育施設の保育料
無償化**

399万円

福祉課

詳細はP5へ

地域の健康を食からサポート

拡充

**七色献立プロジェクト
(健康的な食環境づくり事業)**

118万円

福祉課

詳細はP5へ

住民の思いがまちづくりのカタチに

継続

**議会主導による住民参加型
予算制度の実践**

1万円

議会

詳細はP4へ

80周年(R9年)迎える村の未来をどう描く?

継続

**第7期まちづくり計画
後期基本計画策定**

363万円

総務課

詳細はP4へ

羽ばたく中札内っ子の安心支援

継続

**村外進学者等の医療費
助成拡大検討**

住民課

当事者の対策技術向上サポート

拡充

**有害鳥獣による農業被害
対策強化**

744万円

住民課

詳細はP8へ

高齢者の穏やかな暮らしを応援

新規

**生活支援ハウス改修及び
利用基準の緩和**

1,080万円

福祉課

詳細はP5へ

経済支援で福祉の担い手確保へ

新規

介護職等の奨学金償還助成

200万円

福祉課

詳細はP4へ

食習慣の可視化で高血圧予防

新規

**ナトカリ比測定による
食生活改善**

57万円

福祉課

詳細はP12へ

スマート技術等による生産性向上

拡充 未来の農業を支える
農業基盤整備

1,411万円

産業課 [詳細はP8へ](#)

優良乳牛を育む機能の向上

新規 大規模草地育成牧場整備
(5カ年事業)

1億7,315万円

産業課 [詳細はP10へ](#)

「ふるさとの山」の知名度アップ

拡充 日高山脈襟裳十勝国立公園
誕生1周年企画

1,057万円

産業課 [詳細はP9へ](#)

10年先の農業の未来を見据えて

継続 農業担い手育成等に係る
連携の推進

農業委員会

ウォークابلで安心なインフラの確保

継続 住民の暮らしを支える
道路整備

1,750万円

施設課 [詳細はP11へ](#)

関係人口創出の充実強化

継続 地方の魅力発信を通じた
移住促進

458万円

施設課 [詳細はP10へ](#)

心地よい生活空間づくりを応援

継続 住宅リフォーム支援

1,500万円

施設課 [詳細はP10へ](#)

南北交流、ふるさとの良さ再発見

新規 沖縄県多良間小学校との
授業交流

5万円

教育委員会 [詳細はP6へ](#)

自己の可能性に挑戦

拡充 算数・数学の学力アップ
サポート

584万円

教育委員会 [詳細はP6へ](#)

性の多様性理解を広める新制服

新規 ジェンダーレス制服の
導入事業

517万円

教育委員会 [詳細はP6へ](#)

子どもの夢を地域で応援

継続 部活動の地域展開推進

251万円

教育委員会 [詳細はP7へ](#)

生涯学習でいきいきシニアライフ

継続 ポロシリ大学生の学び
応援事業

148万円

教育委員会 [詳細はP7へ](#)

地域密着の推進で広報力強化

継続 火災予防思想の
普及啓発事業

14万円

消防 [詳細はP11へ](#)

住民の安心を守る環境の整備

新規 災害拠点・消防団の
機能強化と充実

354万円

消防

本年度予算で行う 主な事業の紹介

なかさつない 予算 2025

事業の種類

新規

新しく
実施する事業

拡充

すでに実施している
事業の拡充

継続

継続して
実施する事業

1 みんなが主役のまちづくり

協働、村民参画

継続 議会主導による住民参加型予算制度の実践

議会議員が村民とワークショップを行い、村の課題、解決を目指します。7年度は、前年度にワークショップで決定した事業の執行と検証を行います。



事業費 1万円

一般財源 1万円

議会事務局

継続 第7期まちづくり計画後期基本計画策定

後期基本計画(令和8~11年度)を策定します。令和6年度に実施したまちづくりアンケートや座談会等の意見等を参考に、今後のまちづくりの姿や施策をまとめます。



事業費 363万円

基金 269万円 一般財源 94万円

総務課企画財政グループ

2 優しさと安心が繋がるまちづくり

保健福祉

拡充 高齢者等温泉利用助成

65歳以上の高齢者や障がいのある方の健康増進を図ります。



施設	助成金額
十勝エアポートスパそら	1セット:12枚 (3,600円)
更別村福祉の里温泉	1セット:12枚 (2,700円)

※令和7年度から施設に関わらず2セットまで助成

事業費 151万円

利用者負担金 75万円 一般財源 76万円

福祉課福祉グループ

新規 介護職等の奨学金償還助成(令和6年度の住民参加型予算制度により事業化)

介護職等に対して奨学金の償還助成を行うことで、施設等の人材確保を図り、村内の福祉サービスの維持向上につなげます。

●対象者：村内民営の介護サービス事業所や保育施設等に勤務する35歳以下の方(事務系職員を除く。)

●助成期間：最大10年間

●助成額：月額2万円(上限)

※村内居住要件なし ※資格の有無不問

事業費 200万円

基金 200万円

福祉課福祉グループ

2 優しさと安心が繋がるまちづくり

保健福祉

新規 生活支援ハウス改修及び
利用基準の緩和

「いちげ荘」利用者の生活環境向上のため、改修や利用基準の緩和を図ることで、高齢の方が安心して村での暮らしを続けられるよう支援します。

**事業費 1,080万円**

基金 1,080万円

福祉課福祉グループ

拡充 村外保育施設の保育料
無償化

待機児童の解消と近隣市町村で就労される保護者の利便性向上を目的に、村外保育施設保育料を助成します。

●対象者：

村内に住民登録があり、保育の必要性がある児童

●対象施設：

村外の認可外保育施設、認可保育園(所)、認定こども園

事業費 399万円

国 150万円 道 53万円 基金 144万円
一般財源 52万円

福祉課福祉グループ

拡充 七色献立プロジェクト
(健康的な食環境づくり事業)

地域全体の食生活改善を目的に、健康的で持続可能な食環境の整備を推進します。

- 健康ポイント付与対象に
ベジチェック測定を追加
- 「彩りプラス」、「健診受診
者への食事券提供」の新たな展開

**事業費 118万円 (特別会計含む)**

道 50万円 その他 13万円 一般財源 55万円

福祉課保健グループ

継続 除雪機購入補助

住民自らが行う除雪の負担軽減と共助の促進を図るため、除雪機購入費に対し補助金を交付します。

- 交付額：購入費用の1/2以内
(100万円上限)

- 要件：①除雪ボランティア（中札内村社会福祉協議会で実施）に登録する方
- ②除雪困難者住宅1軒以上、又は村が指定する生活道路等の除雪を行う方
- ③除雪機取得後7年以上活動すること

事業費 300万円

一般財源 300万円

施設課施設グループ

3 文化と学びが紡ぐまちづくり

学校教育、社会教育

新規 沖縄県多良間小学校との 授業交流

「日本で最も美しい村」連合加盟村の沖縄県多良間小学校と中札内村小学校児童がオンラインで授業交流や児童会交流を行い、お互いの気候や生活文化、産業について相互理解を深めます。



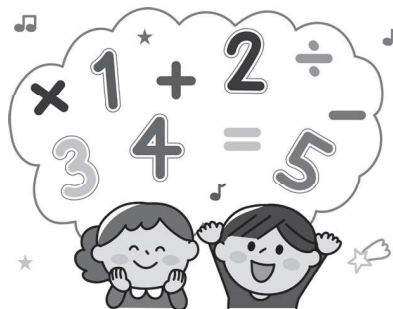
事業費 5万円

一般財源 5万円

教育委員会教育グループ

拡充 算数・数学の学力アップ サポート

児童生徒の基礎学力の定着と学習意欲の向上を目的に、各種検定料（算数・数学検定含む）の全額助成や学校特別支援員（数学教員免許取得者）を増員し、授業における児童へのサポートを行います。



事業費 584万円

基金 135万円 一般財源 449万円

教育委員会教育グループ

新規 ジェンダーレス制服の 導入事業

中学校において、性の多様性への理解を深めるため、性別に関わらず選択できる新制服を導入します。また、保護者の経済的負担の軽減と円滑な移行のため、購入費用を全額助成します。（令和9年度まで）



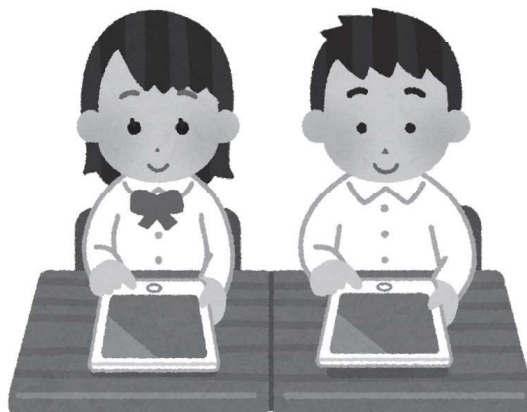
事業費 517万円

基金 497万円 一般財源 20万円

教育委員会教育グループ

新規 児童生徒等のタブレット 更新

GIGAスクール構想によるICT端末を活用した授業の実施のためタブレットを更新します。



事業費 2,750万円

道 1,243万円 基金 1,111万円
一般財源 396万円

教育委員会教育グループ

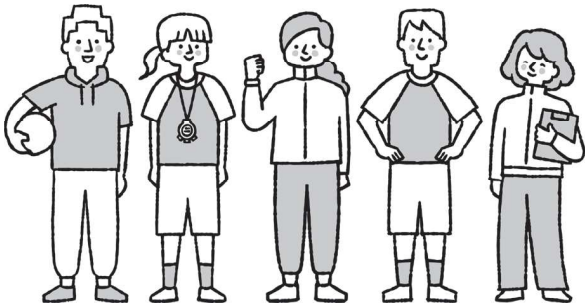
3 文化と学びが紡ぐまちづくり

学校教育、社会教育

継続 部活動の地域展開推進

部活動指導員等の配置を進めることで、地域住民が学校と連携しながら生徒のスポーツ・文化活動に関わる体制を構築します。

- 少年団等指導者を対象とした研修会の開催
- 地域展開の活動状況報告会の実施



事業費 251万円

国 10万円 道 61万円 一般財源 180万円

教育委員会教育グループ

継続 ポロシリ大学生の学び応援事業

社会変化に応じた新たな知識・技術を学べる授業の実施や各種検定・資格の取得に向けて支援します。

●内容

- ①毎月の定例授業の充実
- ②一般公開授業の実施（上記のうち年2回）
（ポロシリ大学生以外の方の参加可）
- ③英語、漢字、数学・算数検定料の助成

事業費 148万円

一般財源 148万円

教育委員会教育グループ

拡充 民間団体と連携した運動教室の開催（フィットジャーニー）

運動不足の解消や身体機能の低下を予防するため、運動無関心者の運動習慣化をサポートします。



事業費 300万円

国 100万円 一般財源 200万円

教育委員会教育グループ

継続 上札内交流館改修・LED化

長寿命化を図るための改修工事と館内照明のLED化工事を実施します。



事業費 5,481万円

地方債 4,980万円 基金 500万円
一般財源 1万円

教育委員会教育グループ

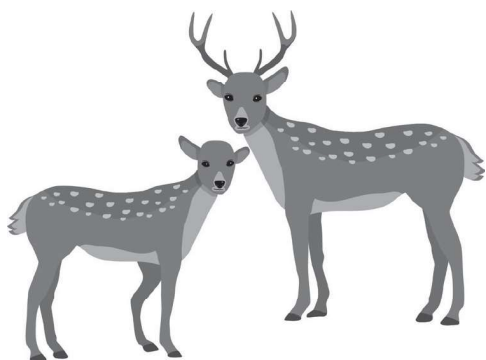
4 元気あふれるまちづくり

農業、林業、商工業、観光、移住

拡充 有害鳥獣による 農業被害対策強化

JA中札内村と連携して、有害鳥獣の捕獲・駆除に係る補助金額を増額し、有害鳥獣による農林業被害の減少を目指します。

- くくりわな、はこわなの新規購入や貸出
- くくりわな講習会の開催



事業費 744万円

一般財源 744万円

住民課住民グループ

新規 種子馬鈴しょ採取カート 導入補助

中札内村種子馬鈴薯対策委員会に対して採取カートの改修及び追加購入費用を補助し、異常株の早期発見や作業効率化を支援します。

- 助成額：総事業費の1/3



事業費 408万円

基金 408万円

産業課産業グループ

拡充 未来の農業を支える農業基盤整備

- 国際情勢等により国産小麦の生産向上が求められていることから、小麦の収量増加と製品率向上を図るため、スマート農業技術（可変施肥対応ブロードキャスター）を用いた小麦栽培の実証実験に対する補助を行います。（令和7年度～令和8年度実施）
- 「元気な農業サポート事業」を実施し、小規模土地改良や圃場の基盤整備（浸透層、集積場の設置・修繕等）に対して補助金を交付します。



【元気な農業サポート事業 令和7年度補助上限額見直しメニュー】

メニュー		補助額
農畜産物 堆肥集積場	設置	事業費の1/2以内（限度額：1経営体あたり年間 30万円 ） ※令和6年度の限度額20万円から拡充
	修繕	事業費の1/2以内（限度額：1経営体あたり年間 10万円 ） ※令和6年度の限度額5万円から拡充

事業費 1,411万円

基金 1,191万円 寄附金 220万円

産業課産業グループ

4 元気あふれるまちづくり

農業、林業、商工業、観光、移住

＜日高山脈襟裳十勝国立公園の魅力発信＞

昨年の6月に、札内川園地を含む日高山脈が「日高山脈襟裳十勝国立公園」となりました。
令和7年度は国立公園化1周年を記念した各種事業を展開し、知名度向上を図ります。

新規 十勝中札内グルメライド 事業補助

実行委員会が主催する雄大な日高山脈のビューポイントを巡る、サイクリングと食を掛け合わせた自転車イベントに対して支援します。

●開催予定日：令和7年9月21日(日)



事業費 450万円

基金 450万円

産業課産業グループ

新規 地域プロモーション 事業補助

包括連携協定を結ぶJAL(日本航空)と連携し、羽田空港内「羽田産直館」で国立公園のPR活動や地場製品の販売などを行います。



事業費 101万円

基金 101万円

産業課産業グループ

継続 国立公園PR事業

観光協会が実施する国立公園の魅力発信・普及啓発事業を支援します。(これまで村が事務局となり村民主体で行ってきた実行委員会のPR活動を観光協会が継承し、新たな事務局体制を構築予定)

また、十勝6市町村と連携して日高山脈の魅力を発信します。

事業費 126万円

一般財源 126万円

産業課産業グループ

新規 国立公園の標識設置

札内川園地に日高山脈襟裳十勝国立公園の標識を設置し、国立公園区域内であることをPRします。



事業費 380万円

道 250万円 基金 130万円

産業課産業グループ



4 元気あふれるまちづくり

農業、林業、商工業、観光、移住

新規 大規模草地育成牧場整備 (5か年事業)

公共牧場の機能を強化し、優良な後継乳牛を育成するための環境改善を図ります。
(令和11年度までの事業)

●令和7年度整備内容

草地改良・造成、乾草舎整備(1棟)、
バンカーサイロ整備(1基)、取水井戸整備



事業費 1億7,315万円

地方債 1億7,310万円 一般財源 5万円

産業課産業グループ

新規 道の駅関連施設等 補修・改修

花水山、豆資料館等は、経年劣化箇所の補修工事を行うほか、開拓記念館については、内部改修(動線分離等)工事を行います。あわせて施設内の照明をLED化します。



事業費 4,311万円

地方債 2,550万円 基金 1,460万円
一般財源 301万円

産業課産業グループ

継続 地方の魅力発信を通じた 移住促進

地理的な条件の良さや各種サービスが充実する村の暮らしを移住フェア等でPRし、村移住促進協議会の活動を推進します。



事業費 458万円

住宅使用料 56万円 一般財源 402万円

施設課施設グループ

継続 住宅リフォーム支援

住宅改修費用の負担を軽減し、安全性と耐久性の向上を図ることで、村で快適に暮らせる居住空間の確保に努めます。

対象者	村内居住者で、工事金額が30万円以上(税抜)の増築や修繕を行う方
対象工事	外部塗装、断熱改修・建具改修、設備機器の交換や配管改修等
助成額	リフォーム費用の20%(上限20万円) ※本人又は同居親族が65歳以上、18歳到達年度末日までの同居親族がいる場合は30%(上限30万円)
加算額	助成対象工事費の1/2以上が村内業者の場合は10%(上限10万円)

事業費 1,500万円

道 195万円 基金 1,305万円

施設課施設グループ

拡充 「ビューティフルデー」の参加促進

環境美化活動「ビューティフルデー」の参加者に、道の駅フェアで使えるクーポン券の配布や「日本で最も美しい村」連合の加盟町村の特産品を贈呈し、参加者の拡大を図ります。



事業費 14万円

一般財源 14万円

総務課企画財政グループ

継続 住民の暮らしを支える道路整備

生活道路の利便性及び安全性の向上のため、未舗装道路（東5条仲通南道路）の舗装化工事を行うとともに、東1条道路の歩道の損傷が大きい箇所から補修作業を行います。



事業費 1,750万円

地方債 1,600万円 一般財源 150万円

施設課施設グループ

継続 公営住宅改修

適切な維持管理のため改修等を行います。

- 耐力度調査：上札内東団地
- 改修工事：鉄道公園団地1・2・3号棟
すずらん団地1・2号棟
- 解体工事：泉団地3・4号棟



(すずらん団地)



(鉄道公園団地)

事業費 5,300万円

国 2,290万円 地方債 2,340万円
一般財源 670万円

施設課施設グループ

継続 火災予防思想の普及啓発事業

消防フェスティバル等のイベントや街頭啓発、SNSでの発信などの火災予防啓蒙活動をさらに充実させて、防災力向上を図ります。



事業費 14万円

一般財源 14万円

中札内消防署

国民健康保険特別会計

5億5,570万円

国民健康保険特別会計の基金（貯金）残高

8,952万円

（令和6年度末見込）

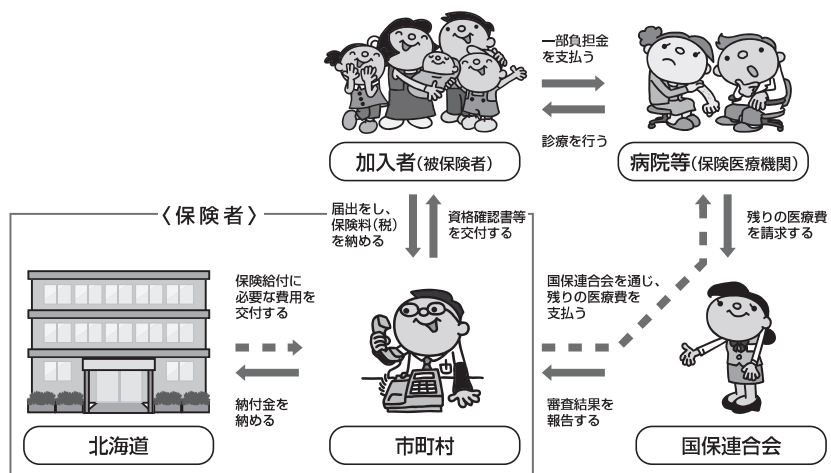
<加入対象者>

職場の健康保険や後期高齢者医療に加入している方、生活保護を受けている方などを除いて、その市町村に住んでいる75歳未満の方はすべて国保の加入者（被保険者）となります。

<国民健康保険制度のしくみ>

国保に加入する方は、市町村に届け出をして資格確認書等を受領し、保険税を納めます。病院などにかかるときは、資格確認書等を提示し、医療費の一部（2～3割）を支払います。

市町村は、資格確認書等の発行や医療給付などの窓口業務及び保健事業等を実施するとともに、保険税を徴収し、それを財源として納付金を財政運営の主体である北海道へ納めます。



<国民健康保険の課題と取り組み>

「北海道のどこに住んでいても、同じ所得・世帯構成であれば、同じ保険税負担」となる“統一保険税率”を、令和12年度を目途に目指しています。

持続可能な国保制度となるよう、国保基金を取り崩しながら村の保険税率を見直し安定的な国保運営を図ります。

また、医療費負担の増加が課題となっており、村では生活習慣病の発症・重症化予防のための特定健診の受診勧奨強化やジェネリック医薬品の使用促進などの取組を行い、村民の健康づくりと負担軽減を図ります。

担当 各種給付：住民課住民グループ

国保税：住民課税務出納グループ

<本年度予算で行う主な事業>

新規 ナトカリ比測定による食生活改善

食育を柱とする「七色献立プロジェクト」の一環で、摂取バランスが大切なナトリウムとカリウムの比を尿検査で可視化し、保健指導をとおして食生活の改善を促し、住民の健康増進を図ります。

- ナトカリ比を測定する検査機器の導入
- 保健指導の実施
- 健診結果説明会や健康講座において測定実施
- カゴメと連携したセミナーの開催

事業費 57万円(一般会計含む)

道 14万円 一般財源 43万円



(担当 福祉課保健グループ)

介護保険特別会計

3億7,140万円

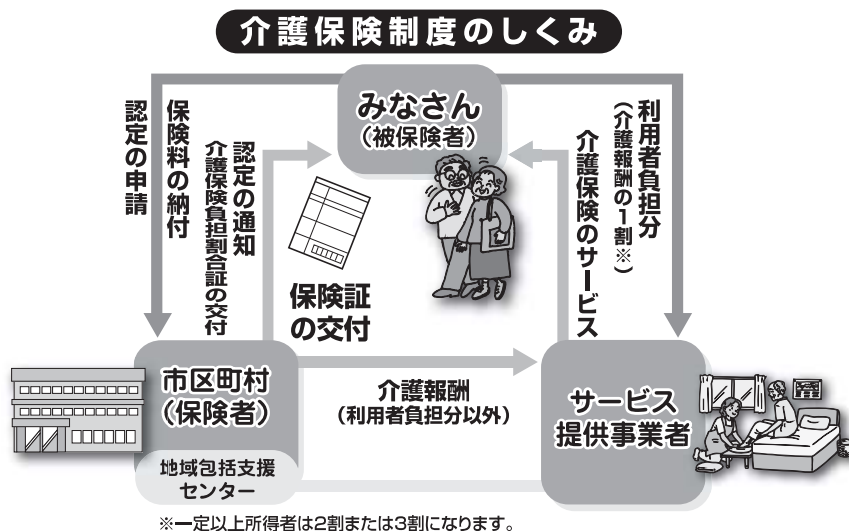
介護保険特別会計の基金（貯金）残高

4,086万円

（令和6年度末見込）

<介護保険制度のしくみ>

40歳以上の方が被保険者となって納めた保険料と国・道・村（一般会計）が負担する公費によって運営され、介護が必要となったときに介護保険のサービスを利用することができます。また、介護が必要な状態になることを予防し、日常生活を元気に送っていただけるよう介護予防教室等も実施しています。



<介護保険料について>

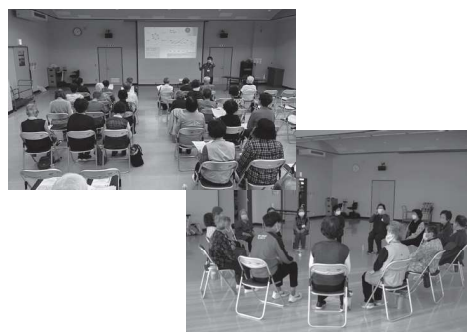
「高齢者保健福祉計画・介護保険事業（支援）計画」において、高齢化の状況や要介護認定者数、介護保険事業に必要な費用等を推計した結果、第9期計画の期間（令和6年度～令和8年度）の3年間は、65歳以上の方の基準保険料月額を5,800円としています。

<本年度予算で行う主な事業>

継続 地域まるごと元気アッププログラム（まる元）

個々のレベルに応じた運動を継続することで、要介護状態への進行を抑制し自立した生活を送ることを目指します。

- 対象者：65歳以上で、要介護認定を受けていない方
- 内 容：運動教室（週1回）、体力測定・認知機能テスト、結果説明会、講演会
- クラス：初級（2クラス）、中級（2クラス）、まる元プラス（1クラス）
- 利用料：月1,000円



事業費 718万円

国 228万円 道 90万円 社会保険診療報酬支払基金 194万円 一般会計繰入金 90万円 一般財源 116万円

（担当 福祉課福祉グループ）

後期高齢者医療特別会計

8,480万円

<加入対象者>

75 歳以上の方（一定の障がいのある場合は 65 ～ 74 歳も対象です。）

<後期高齢者医療制度のしくみ>

道内の市町村が加入する「北海道後期高齢者医療広域連合」が制度を運営しています。

保険料の徴収や窓口業務（申請・届出の受付など）は、市町村が行います。

保険料のほか、国・道・市町村（一般会計）の負担によって事業を運営しています。

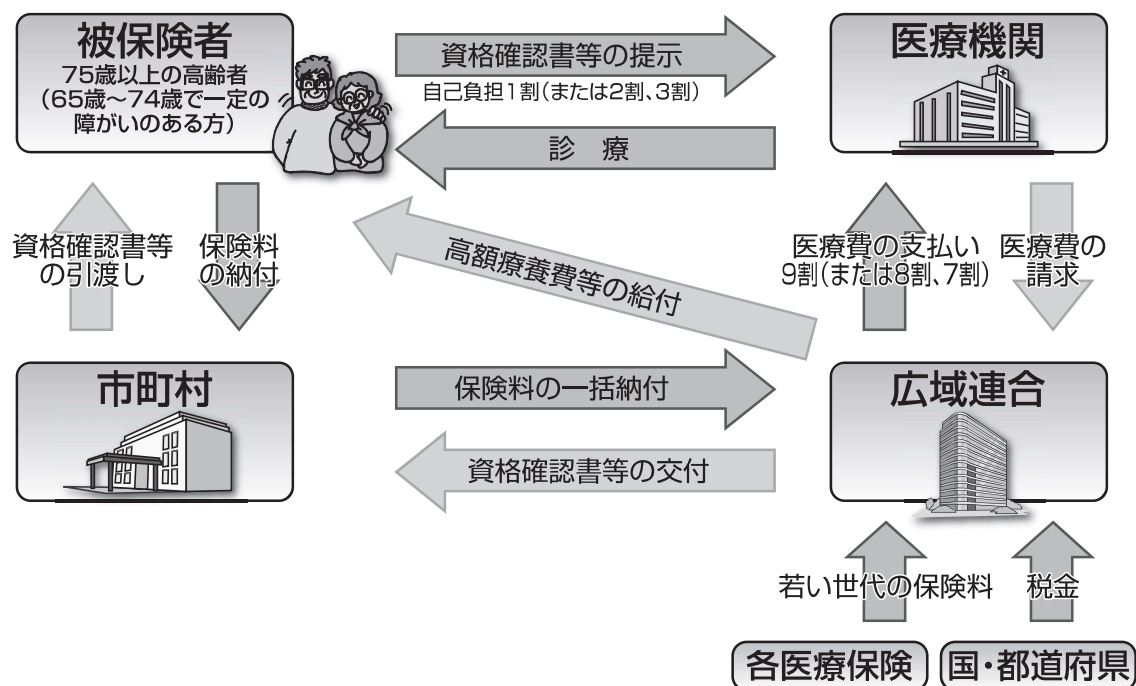
<後期高齢者医療の課題と取り組み>

高齢化の進展による被保険者数や医療費の増加とともに療養給付費に係る負担金は増加が見込まれており、若年層のときから病気の予防、早期発見・治療に努め、医療費を増やさないための取り組みを推進していきます。

<後期高齢者医療保険料について>

後期高齢者医療保険料は 2 年ごとに定める保険料率をもとに決定します。

令和 6 年度は、現役世代の負担軽減や後期高齢者医療制度から出産育児一時金に係る費用の一部を支援する仕組みの導入をもとに保険料率が見直されました。（令和 7 年度は、据え置きとなりました。）



（担当 住民課住民グループ）

簡易水道事業会計 / 公共下水道事業会計

<公営企業会計>

公共サービスの効率化と持続的なサービス提供のため、簡易水道事業と公共下水道事業に公営企業会計を適用しています。公営企業会計は、従来の官庁会計では把握できなかったフロー情報（経営の成績）とストック情報（財政の状況）が明らかになるため、より適切な検証や対応が可能となります。

<取り組み>

今後、人口減少による収入減が見込まれることや施設の老朽化による更新事業を控えていることから、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上のため簡易水道事業・公共下水道事業の「経営戦略」を令和6年度に改訂しました。令和7年度は、「経営戦略」をもとに料金の改定を検討していきます。

簡易水道事業会計

<課題と対応>

浄水場の建設や水道管の布設から約50年が経過し、老朽化対策が必要なため、浄水場の機器や水道管などについて計画的な更新を行っています。

<本年度予算で行う主な事業>

継続 水道管及び流量計更新

安定した上水道水を供給するために水道管と流量計を更新します。

事業費 5,700万円

地方債 5,700万円

新規 水源確保のための井戸調査

安定した水源確保を目的に、井戸水の利用に向けた貯留量及び水質調査を実施します。

事業費 約800万円

負担金 477万円 一般財源 323万円

公共下水道事業会計

<課題と対応>

下水処理を行う浄化センターの建設から28年が経過し、機器類の更新時期を迎えています。平成27年度以降、国の補助金を活用しながら計画的に更新を行っています。

<本年度予算で行う主な事業>

継続 終末処理場建設改良工事

浄化センターの長寿命化を図るため、耐震診断と更新工事の実施設計を行います。

事業費 約8,000万円

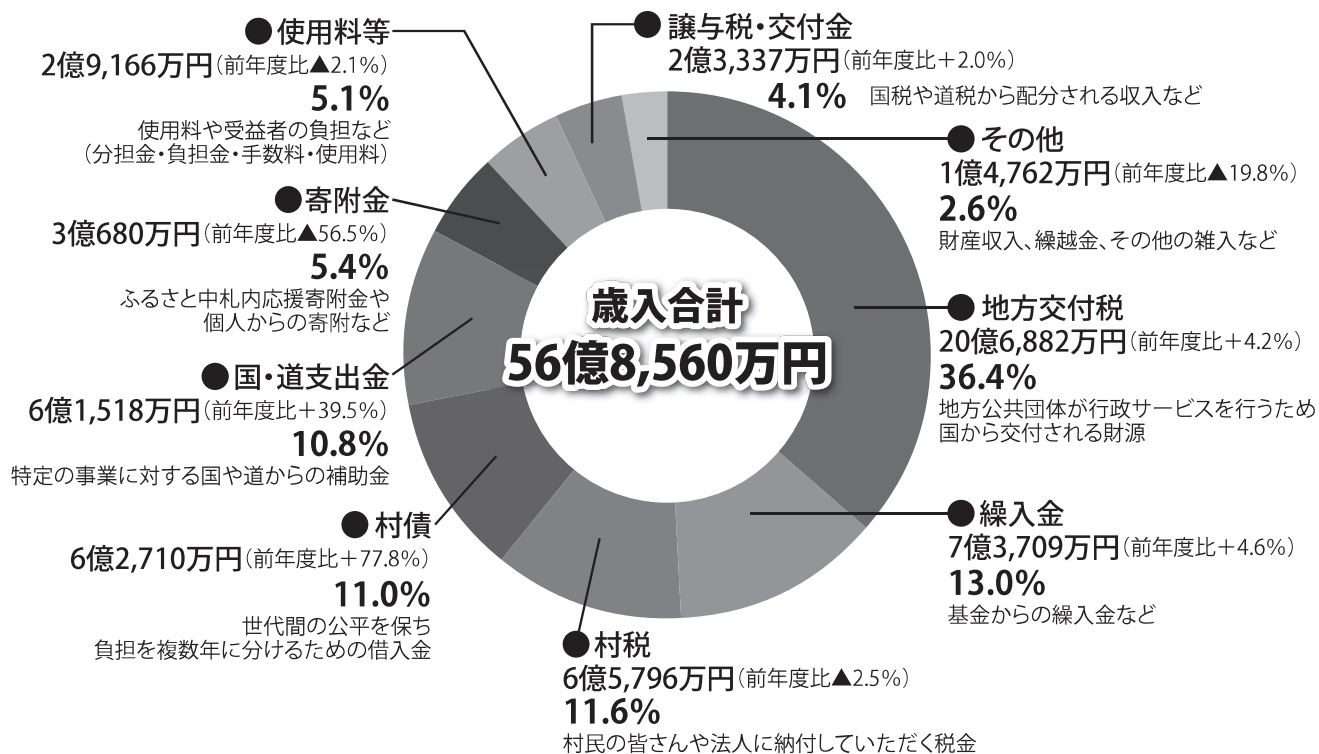
国 4,000万円 地方債 1,200万円 一般財源 2,800万円

（担当 施設課施設グループ）

一般会計歳入の概要

一般会計の予算額 56億8,560万円 (前年度比2.0%増)

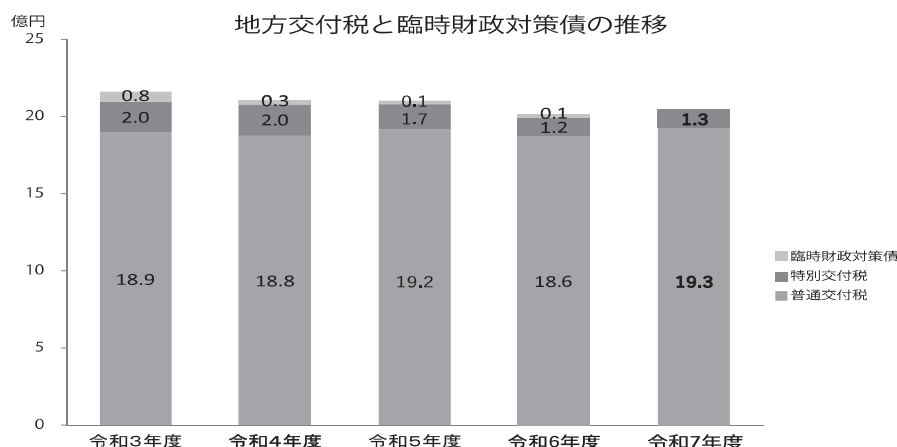
歳入予算の内訳



●地方交付税

普通交付税は、人事院勧告に基づく常勤職員・会計年度任用職員に係る給与改定に要する経費、光熱費高騰分などの交付対象事業費の増や交付単価の見直し等により前年度比3.6%増の19億3,382万円を見込んでいます。

また、災害などの特殊要因に対して配分される特別交付税は、近年の交付額を参考に前年度比12.5%増の1億3,500万円を見込んでいます。



※令和3～5年度は決算額、6～7年度は当初予算額です。

※令和7年度は臨時財政対策債の発行はありません。

●村債（地方債）

年度間の財政負担の平準化や世代間負担の公平性のために行う借入金を地方債といいます。道営事業による大規模草地育成牧場の整備や道路の路盤整備、防災無線操作卓の更新により、借入予定額は前年度より増え、6億2,710万円（前年度比77.8%増）となります。

令和7年度の村債借入予定

（万円）

村債の種類	金 額
公共施設等適正管理推進事業	1億4,450
公共施設解体撤去等事業	1,000
改善センター長寿命化事業	5,850
西札内防災ダム桜公園トイレ除却事業	710
札内川園地給水棟・トイレ除却事業	560
道の駅関連施設長寿命化事業	1,450
上札内交流館長寿命化事業	4,420
文化創造センター長寿命化事業	460
緊急防災・減災事業	1億1,400
防災無線操作卓更新事業	6,820
消防施設整備事業	2,050
上札内交流館LED化事業	560
文化創造センター施設整備事業	1,970
一般廃棄物処理事業	460
新中間処理施設整備事業	
辺地対策事業	3億 240
牧場施設整備事業	5,560
道営草地畜産基盤整備事業	1億3,500
西札内林業専用道整備事業	2,350
舗装道路路盤整備事業	8,830
脱炭素化推進事業	1,520
道の駅関連施設脱炭素化推進事業	1,100
学校給食共同調理場脱炭素化推進事業	420
緊急自然災害防止対策事業	2,300
未舗装道路改修事業	
公営住宅建設事業	2,340
合 計（太字金額の合算額）	6億2,710

●繰入金

基金には、財源不足に対応するための財政調整基金、借入金の返済に対応するための減債基金、各目的に対応するための特定目的基金があります。

今年度の基金からの繰り入れ（貯金の取り崩し）は、7億3,709万円（前年度比4.6%増）を予定しています。今年度、基金から繰り入れて実施する事業は下記及びP18のとおりです。

財政調整基金 4億円（一般会計の歳入不足の補てん）

減債基金 1,237万円（借入金の返済）

○基金からの繰入額

特定目的基金 3億2,472万円

公共施設等整備基金（7,391万円）

消防署施設整備	高圧受電設備接地改修（村立診療所）
十勝複合事務組合負担金（新中間処理施設整備）	保健センター事務所椅子机更新
改善センター外部改修	道の駅関連施設等整備
開拓記念館改修	橋梁補修
噴水周辺人工芝張替（鉄道記念公園）	上札内交流館改修
電話設備更新（中札内小学校）	児童生徒等タブレット端末更新
地下タンク内部ライニング工事（上札内小学校）	学校給食調理場施設整備

ふるさと活性化基金（5,521万円）

まちづくり計画後期基本計画策定	ふるさとづくり事業補助
ワーケーション普及促進事業助成	地域プロモーション事業補助
十勝中札内グルメライド事業補助	中札内村トカプチ400路面標示設置工事
中札内スタイル住宅建設奨励金	定住促進住宅取得奨励金
住宅リフォーム支援	川越市訪問交流事業交付金
青少年国際交流派遣研修事業補助	

豊かな環境等創成基金（2,122万円）

景観づくりアドバイザー講師派遣	美しい村連合負担金
労働雇用対策	村有林支障木伐採
花づくり推進費	除草作業（桜六花公園）
樹木防除防疫（桜六花公園）	屋外運動場照明撤去

福祉基金（3,697万円）

高校生以下医療費無料化	認知症グループホーム改修事業補助
介護職等支援事業補助	福祉灯油助成
生活支援ハウス改修事業補助	高齢者等通院タクシー利用料助成
高齢者民間バス運賃助成	出産祝金
認可外保育施設保育料助成	妊婦通院タクシー利用料助成
不妊治療費助成	七色献立プロジェクト

食と農業農村振興基金（6,521万円）

食の推進パートナー PR事業	元気な農業サポート事業補助
地域担い手育成総合支援協議会補助	種子馬鈴薯防除対策補助
第三者農業経営継承者奨励金	大規模草地育成牧場施設改修等

森林環境整備基金（463万円）

森の輪プロジェクト	造林推進事業
西札内林道開設工事等	日高山脈襟裳十勝国立公園標識設置

中小企業新型コロナウイルス対策基金（47万円）

中小企業振興資金利子補給補助（新型コロナウイルス対策特例分）

商工業振興基金（977万円）

地元飲食店子育て応援事業
にぎわいづくり起業家等支援事業補助
サテライトオフィス設置推進補助

文化振興基金（1,010万円）

文化振興奨励事業補助
音まちプロジェクト事業等

スポーツ振興基金（540万円）

スポーツ振興奨励事業補助

永井明奨学金基金（654万円）

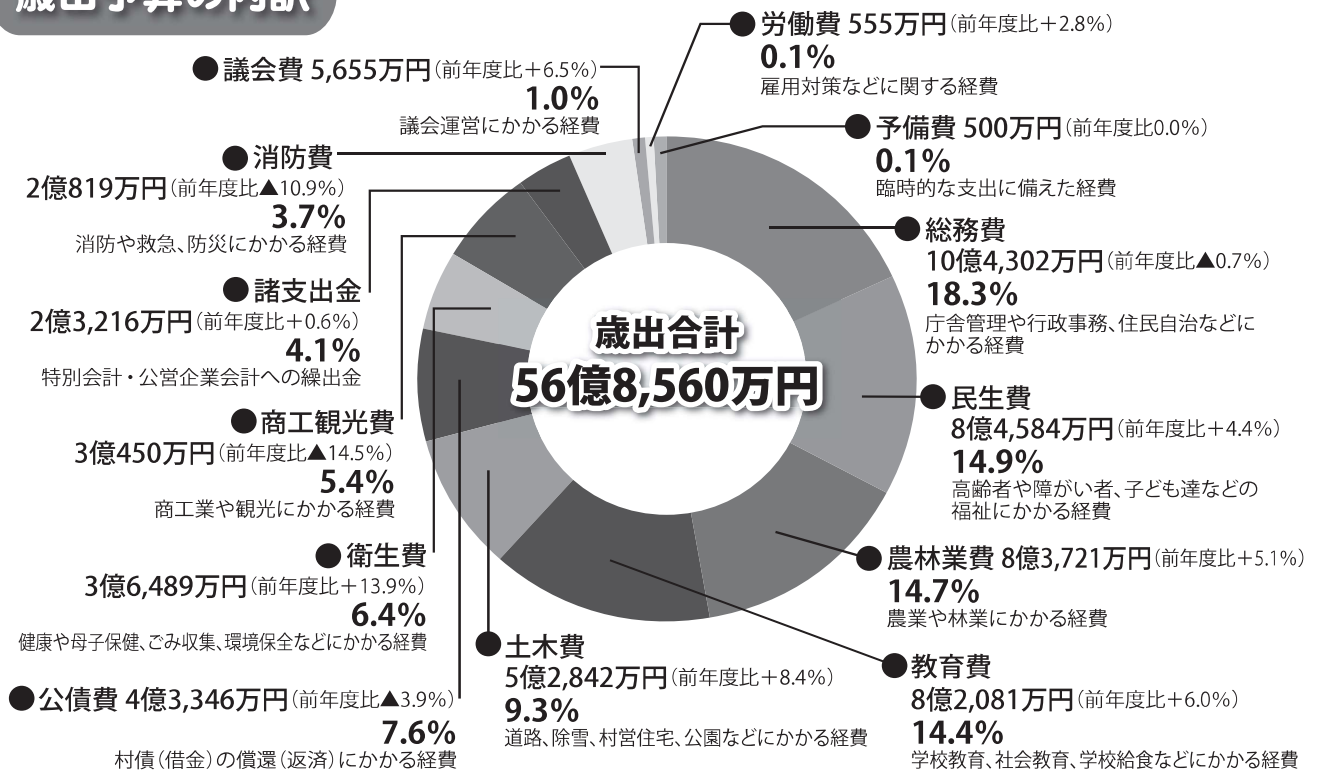
永井明奨学資金貸付金

教育振興基金（3,529万円）

山村留学事業	高等学校就学支援対策事業
通学費等助成事業	検定受検料補助
ジェンダーレス制服導入（中学校）	給食費の負担軽減

一般会計歳出の概要

歳出予算の内訳



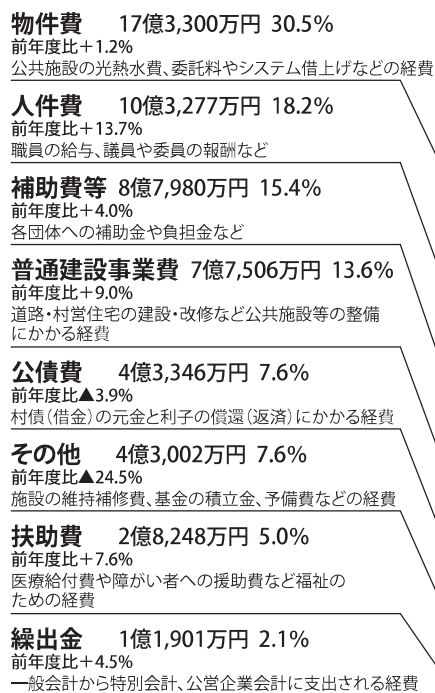
令和6年度に、消防費では消防自動車の更新、商工観光費では札内川園地トイレ炊事場整備を実施したことから、この2つは令和7年度予算では大きく減少しました。それに対して、衛生費では診療所の高圧受電設備の接地改修工事、土木費では道路改良工事を予定していることから、前年度より大きく増加しました。

性質別に見た予算

資材高騰の影響や、国が目指す自治体情報システムの標準化・共通化に伴う経費の増加により、物件費の構成割合が一番高くなっており、前年度よりも1.2%の増となりました。

普通建設事業費は、西札内林業専用道整備工事や上札内交流館改修工事などにより前年度よりも9.0%の増となりました。

その他は、ふるさと納税の寄附金額減少を見込んで基金の積立金を大きく減少させたため、24.5%の減となりました。



村の財政状況はどうなっているの？

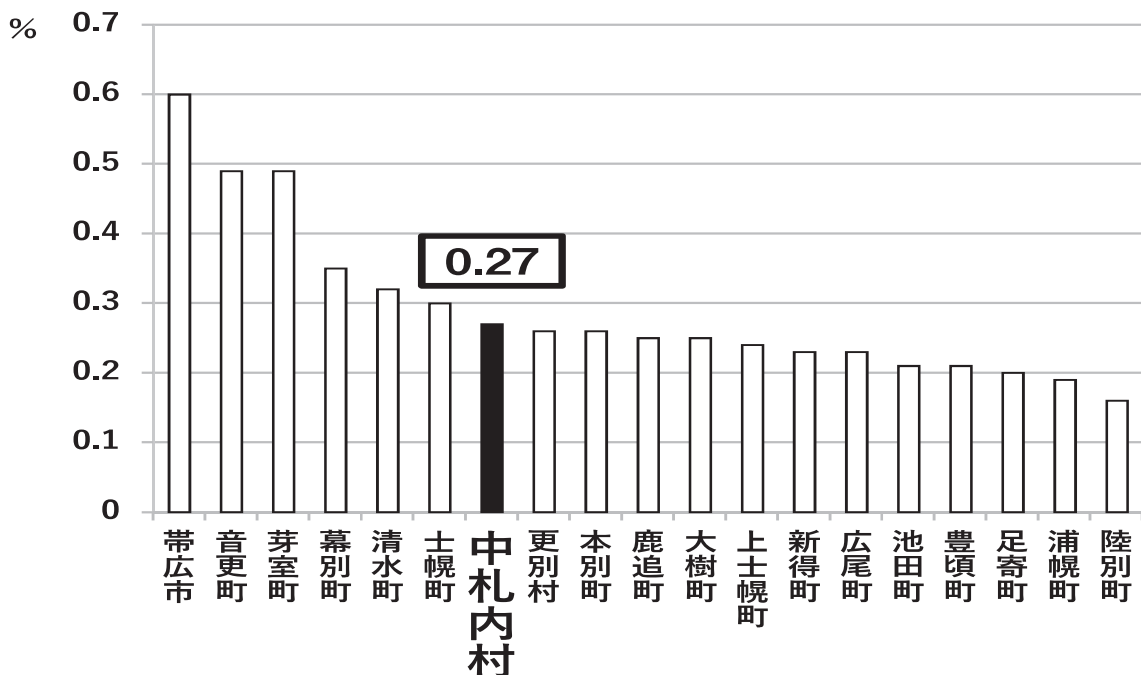
村の財政状況は健全なのかを判断する指標（指数、比率などのものさし）にはいくつかの種類があります。分かりにくい指標が多いのですが、村の財政状況を把握し、健全性を判断するために重要な指標です。

令和5年度決算の主な指標をもとに、村の財政状況を見てみましょう。

①財政の体力を示す「財政力指数」 中札内村は 0.27

全国の市町村等の財政力を同じ尺度で測るための指数で、標準的にかかるお金に対して、自主的な収入（村税や各種使用料等）がどの程度あるかを示す指標です。数値が「1」であれば、100%自主的な収入で運営できることになります。

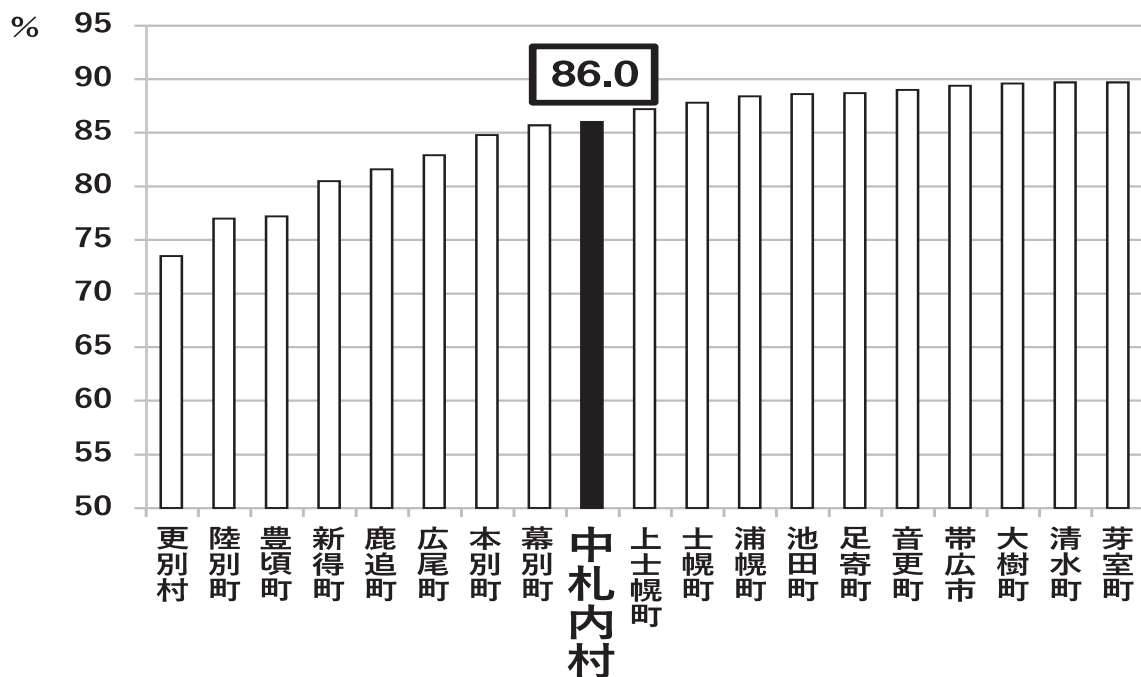
中札内村は「0.27」（前年度0.28）ですので、73%を国からの財源（地方交付税や国庫支出金等）に頼っていることになります。



②財政の自由度を示す「経常収支比率」 中札内村は 86.0%

村税や地方交付税など使途が特定されずに毎年入ってくるお金（経常的な収入）に対して、人件費や施設の維持管理、借入金の返済等に係る費用など毎年支払わなければならないお金（経常的な経費）がどの程度の割合になるかを示す指標です。数値が「100%」の場合は、自由に使える収入のすべてが、支払わなければならない経費に使われるため、その年に自由に使うお金はゼロということになります。

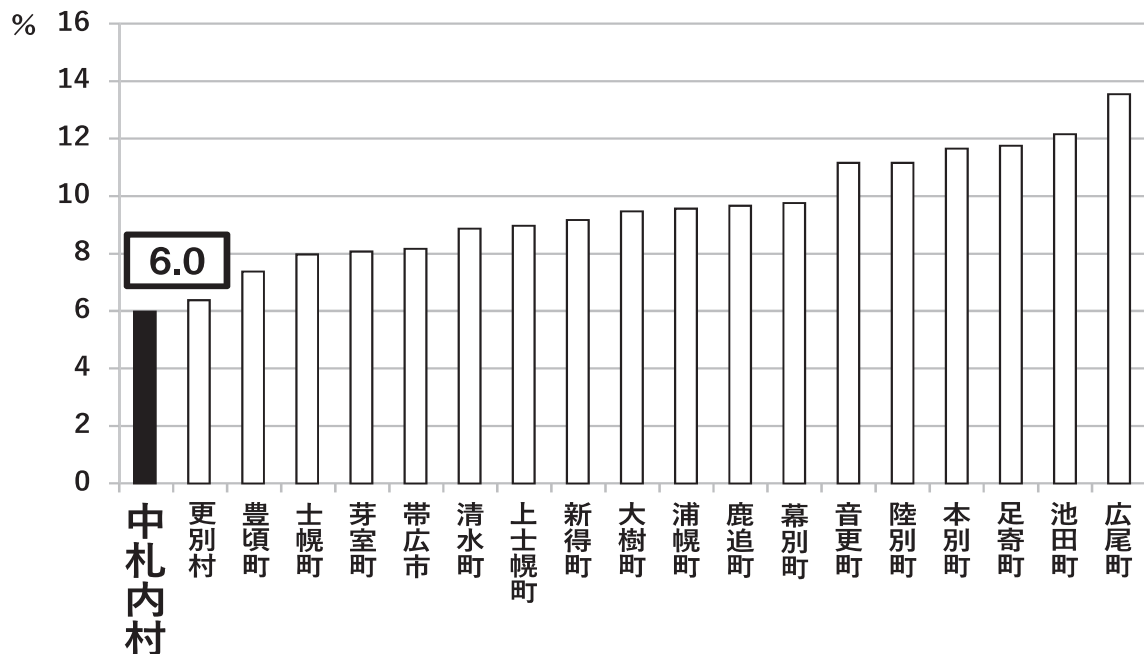
中札内村は「86.0%」（前年度84.7%）ですので、自由に使えるお金は14.0%ということになります。物件費や補助費などの歳出が増加した影響により、前年度から1.3ポイント増加しました。



③借金の負担を示す「実質公債費比率」 中札内村は 6.0%

村税や地方交付税など用途が特定されずに毎年入ってくるお金（経常的な収入）に対して、借入金の返済に係る費用（公債費）がどの程度の割合になるかを示す指標です。数値が高いほど借入金に依存しているといえます。

中札内村は「6.0%」（前年度 6.1%）となっています。



主な指標に基づく村の財政状況は、**現在は健全な状況にある**と言えます。

しかし地方交付税の動向や、国・地域経済状況などにより大きく左右されます。つまり「**財政指標が健全であることと、村の会計が裕福であるかどうかは別問題**」なのです。先行き不透明な情勢でも継続したまちづくりを行うため、今後も健全な財政運営をしていく必要があります。

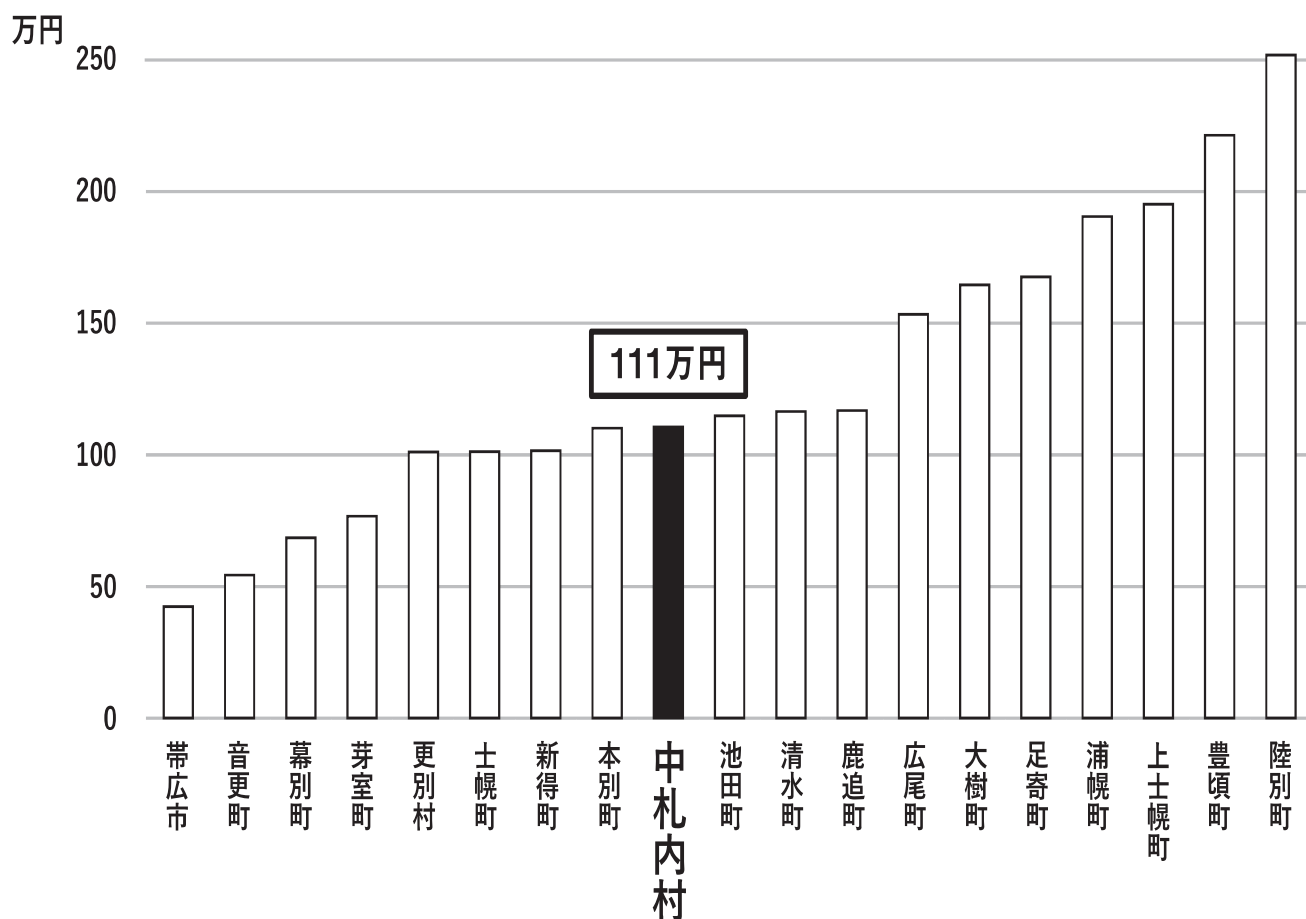
村の借金はどれくらいあるの？

村は毎年借金の返済を行っており、令和6年度末の借金残高（見込）は、およそ42億円あります。臨時財政対策債（H15借入）や臨時地方道路整備事業債（H20）などの償還が終了することにより、前年度より残高は減少しています。

◎村の借金（地方債）残高（令和6年度末見込）

一般会計 42億3,694万円（前年度43億259万円）

★十勝管内の人口一人あたりの借金（地方債）ランキング★ （一般会計分・令和5年度決算値・令和6年1月1日人口）



村の貯金はどれくらいあるの？

村の貯金（基金）は、使用目的ごとに積み立てをしており、一般会計に14種類、特別会計等に4種類あります。その種類は、災害などの緊急時や借金の返済、また福祉・教育・文化振興・産業などがあります。

今後、建物や道路の老朽化による維持改修などが予想され、また村の収入の大部分を占める地方交付税の動向が不透明であることから、安定した財政運営のために貯金を確保しています。

ふるさと納税による寄附金などの積立額が前年度よりも減少しているため、令和6年度末残高は一般会計で比較すると前年度から減少する見込となります。

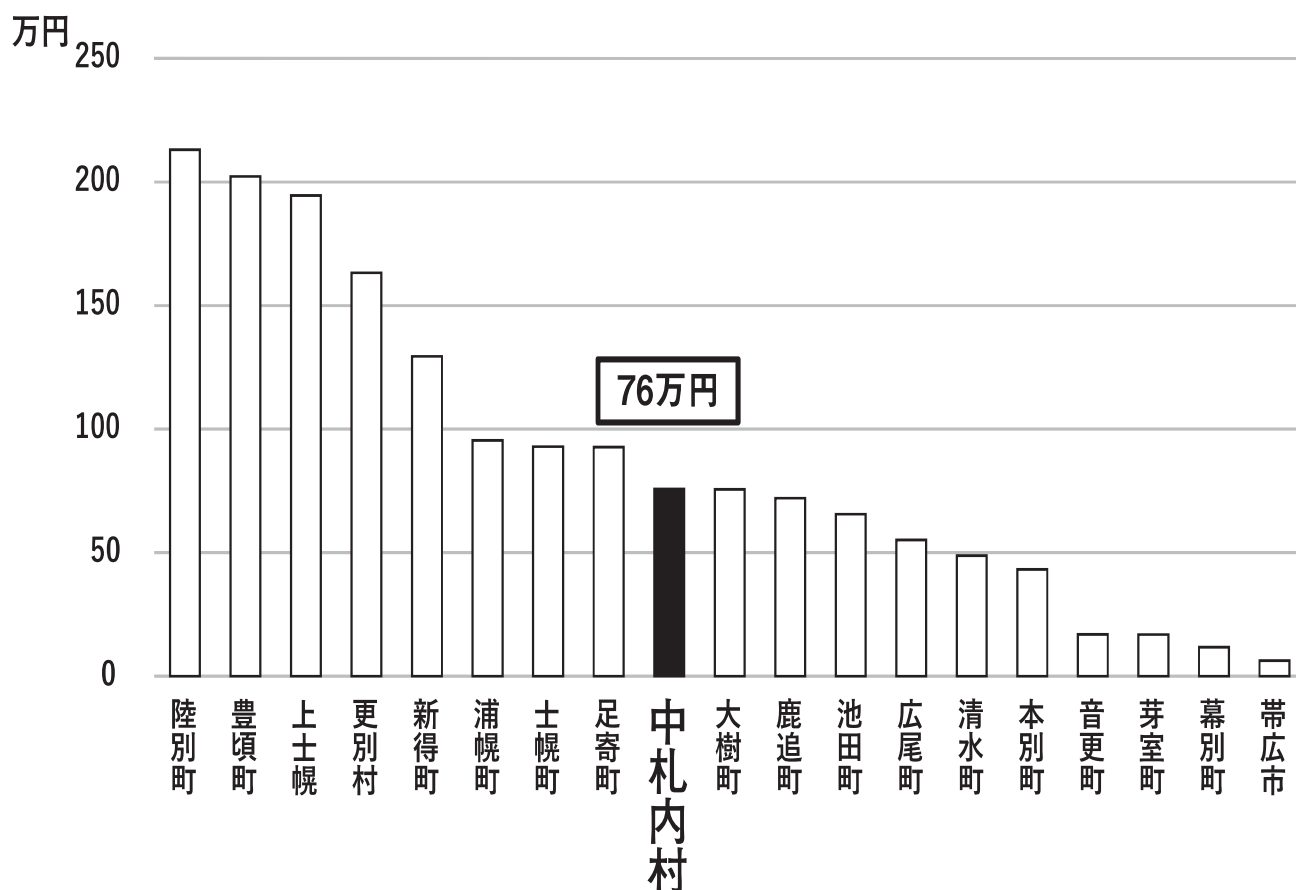
◎村の貯金（基金）残高（令和6年度末見込）

一般会計 26億7,963万円（前年度29億5,770万円）

その他基金 8億8,559万円（前年度 8億8,220万円）

（国民健康保険事業基金、介護保険事業基金など）

★十勝管内の人口一人あたりの貯金（基金）ランキング★ （一般会計分・令和5年度決算値・令和6年1月1日人口）



■骨格予算

骨格予算とは村長改選期を控えている年度の予算で、政策的な判断を必要とする事業などを極力除き、人件費や公債費などの義務的経費、継続事業など必要最低限の事業費を計上した予算です。

除かれた事業や新規事業は、村長改選後に検討し、補正予算として骨格予算に加えられます。これを「肉付け予算」と言います。

■地方交付税

どの地域に住む人にも一定の行政サービスが提供できるよう、国税のうち所得税・法人税・消費税・酒税の一定割合の額など（実際にはこれだけでは財源が不足しており、特例措置として不足分が加えられています）を、一定の基準により計算し、国から地方に交付するもので、普通交付税と特別交付税（災害対策や特別な財政需要のため）に分けて交付されています。普通交付税は、自治体ごとに財源が足りない分を計算し、原則としてその不足分が交付されます。

普通交付税の算出式

普通交付税額（財源の不足額）＝基準財政需要額－基準財政収入額

基準財政需要額とは

自治体が標準的な水準の行政を行うために必要な経費を決められた方法で計算した額

基準財政収入額とは

自治体の標準的な収入として決められた方法で計算した額

■臨時財政対策債

地方交付税の不足分を補う借入金（赤字地方債）です。

通常の地方債は建設事業などの投資的な事業を行うためにしか借入することができませんが、臨時財政対策債は地方交付税の振り替えであるため、使途が特定されていません。

なお、その費用は後年度に普通交付税で全額補てんされることとなっています。

令和 7 年度の地方財政対策においては、平成13年度創設以来初めて、新規発行額が計上されないこととされました。





予算 2025

令和 7 年度 予算の概要



the most beautiful
villages
in japan

中札内村は「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています

■ 発行 中札内村
■ 企画 総務課企画財政グループ

TEL.0155-67-2491 FAX.0155-68-3911

Email: s-kikaku@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

URL: <https://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp>